KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立高圧洗浄機
WET044
WET044N

⚠ 警　告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

2002/09

⚠ 注　意

- **この取扱説明書は、いつでも読めるように、紛失、汚損の恐れのない、すぐ取出せる所に必ず保管してください。**
- **この説明書が損傷により読めなくなった場合、紛失した場合は、販売店より新しく取扱説明書を購入し、常に参照できるよう保管してください。**
- **この取扱説明書で解説している機械を、貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書を読ませ、充分な指示、訓練を行なった後、この取扱説明書とともに機械を貸与してください。**
- **製品を譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。**
- **ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。**

警告表示ラベルについて

- **この取扱説明書で解説されている機械には、下記の「警告表示ラベル」が貼付してあります。ご使用前に「警告表示ラベルの位置」で確認し、ラベルの意味を理解してください。**
- **万一、ラベルが摩滅したり破損して読めなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店より新しくラベルを購入し、「警告表示ラベルの位置」に指示してある箇所に貼り、常にラベルが読める状態を維持してください。**

警告表示ラベル

⚠危　険	・給油口に火を近づけないでください。 ・給油中はエンジンを停止してください　火災となるおそれがあります。
⚠警　告	・室内や換気の悪い場所での運転はやめてください。排気ガスが充満して人体に害をあたえます。 ・カバーを開けて（外して）運転しないでください。けがをするおそれがあります。 ・運転中は回転部やベルトには絶対にさわらないでください。けがをするおそれがあります。 ・本機の積み降し時はタンクの水を抜いてください。重量に見合った運搬装置を使用してください。 ・本機の吊り上げは必ず赤色の吊り金具部で行い、周囲および下方に充分注意してください。
⚠注　意 X505000470	・取扱説明書をよく読んで　正しく作業してください。 ・保護カバーやその他安全装置を取り外したままで使用しないでください。 ・安全装置の作動確認を行ってください。作動不良によりけがをするおそれがあります。 ・ノズルを絶対に人や動物に向けないでください。 ・保護衣・ゴーグル・ゴム手袋・ゴム長靴を用意し、安全な服装で作業してください。 ・運転中及び停止直後は、消音器や本機上部カバーが高温になりますので　さわらないでください。 ・噴射作業はガンをしっかりと支持してください。 ・移動時以外は必ず本機を固定してください。 ・本機に直接噴射しないでください。エンジン不調を引きおこすおそれがあります。 ・使用後は、ホース及びガンの水を抜いてください。 ・本機から離れる時は　必ずエンジンを停止してください。 ・ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。

はじめに

共立高圧洗浄機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この高圧洗浄機をこの取扱説明書に書かれている目的以外に使用しないでください。
- この取扱説明書には、組立や操作、整備に必要な事項が書かれていますので正しく効果的な製品の取扱いができるよう、よく読んで理解してください。

目 次

はじめに …… 1
各部の名称 …… 2
警告表示ラベルの位置 …… 4
正しい作業のために …… 5
作業前の準備 …… 10
操作方法 …… 12
輸送・移動時の注意 …… 14
点検・整備 …… 15
故障診断と対策 …… 16
長期保管 …… 17
仕　様 …… 17

・説明書の内容は製品の標準装備を基本に構成していますが、特別注文品（オプション）やアクセサリを使用する場合も含まれます。
・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明のために例にあげられている図や内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。
・単位はＳＩ単位を使用しています。（　）内は参考値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。

⚠ 警　告

- 正しい作業のための警告・注意を注意深くよく読んで理解すること。
- 正確で正しい操作のために、この取扱説明書を必ず読むこと。

⚠ 危　険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

丝 丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

⚠ 警　告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

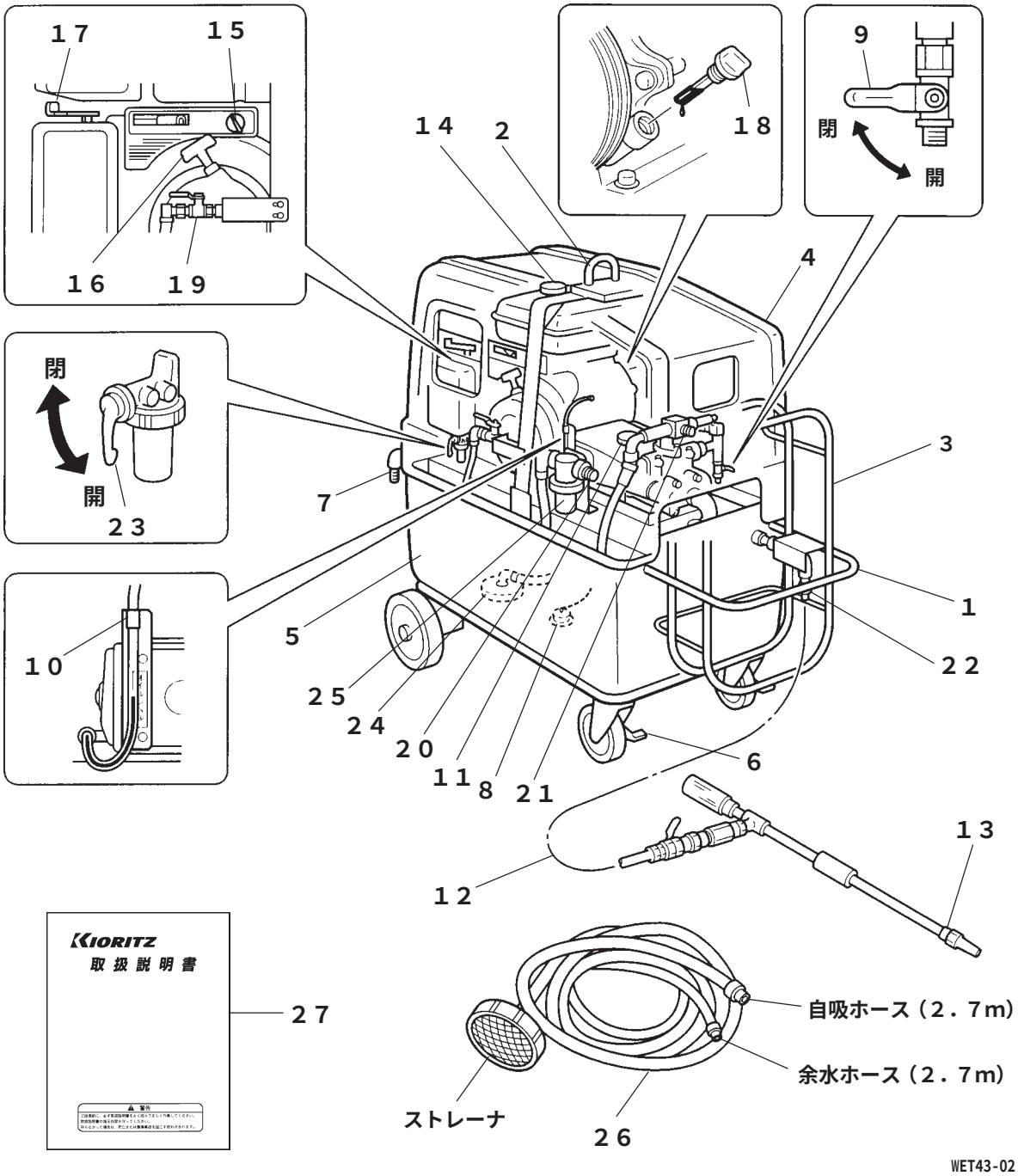
重　要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

⚠ 注　意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

各部の名称



お客さまがご用意するもの

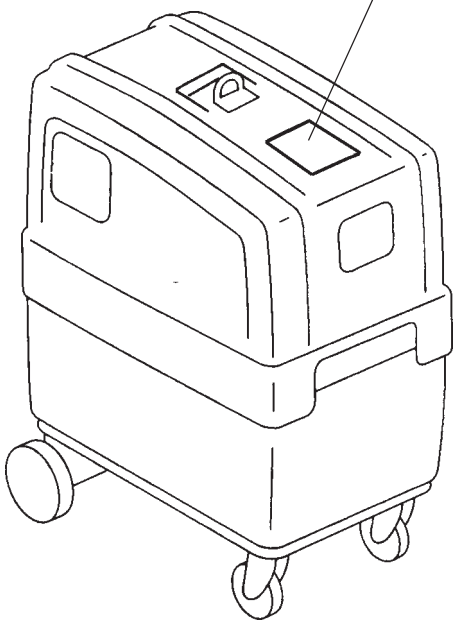
給水ホース（直径１５mmまたは１９mmの耐圧水道ホース）、ホースバンド２ケ
無鉛ガソリン

各部の名称

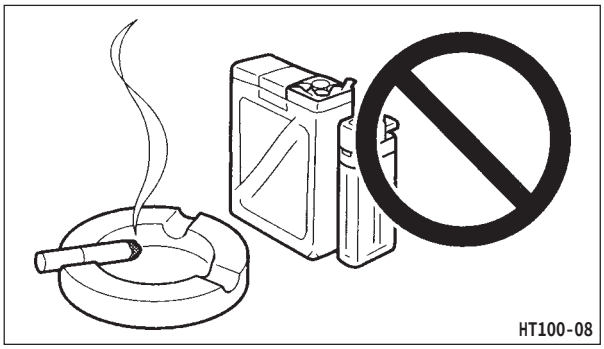
１． ハンドル	——	移動時に使用すると共に､バンパの役目をします。
２． 吊り金具	——	クレーンやユニックなどのフックに掛けるときに使用します。
３． ホース巻き	——	保管するときにホースを巻いてください。
４． カバー	——	エンジン、ポンプを保護するカバーです。
５． シースタンク	——	噴射する水を入れる容器です。
６． ストッパ	——	作業中や保管するときに車輪を停止するため使用します。
７． 給水口	——	水道水を給水ホースから取入れる場所です。
８． ドレン	——	タンク内の水を排出するときに開けてください。
９． エア抜きコック	——	始動時に水をポンプに吸込ませるときに開きます。
１０．ポンプオイルゲージ	——	ポンプオイルの量を確認するときに使用します。
１１．ポンプ注油口	——	ポンプオイルを入れる場所です。
１２．高圧ホース	——	噴射する水をトリガランスに送る高圧ホースです。
１３．トリガランス	——	噴射水をコントロールするときに使用します。
１４．給油口	——	燃料を入れる場所です。
１５．エンジンスイッチ	——	エンジンを始動・停止するとき使用します。
１６．スタータグリップ	——	エンジンを始動するとき使用します。
１７．チョーク	——	始動時に燃料と空気の混合比を濃くするレバーです。
１８．エンジンオイルゲージ	——	エンジンのオイル量を確認するときに使用します。
１９．始動コック	——	エンジンを起動するときに開き、起動後に閉じてください。
２０．自吸口	——	ポンプへ水を吸込む場所です。（外部から吸水させる場合に吸水ホースを外し、自吸ホースを継ぎます。）
２１．余水口	——	ポンプからの余水を排出する場所です。(外部へ排水させる場合に余水ホースを継ぎます。)
２２．吐出口	——	噴射される水を吐出する場所です。
２３．燃料コック	——	エンジンの燃料を開閉します。(始動時に開、停止時に閉にします。)
２４．吸水ストレーナ	——	タンク内から吸込む水をろ過します。
２５．中間ストレーナ	——	ポンプにゴミなどが吸込まれるのを防止します。
２６．自吸ホースセット	——	外部水源から自吸をさせる場合に使います。
２７．取扱説明書	——	必ず読んで、充分理解をした後に使用してください。

警告表示ラベルの位置

⚠危　険	・給油口に火を近づけないでください。 ・給油中はエンジンを停止してください　火災となるおそれがあります。
⚠警　告	・室内や換気の悪い場所での運転はやめてください。排気ガスが充満して人体に害をあたえます。 ・カバーを開けて（外して）運転しないでください。けがをするおそれがあります。 ・運転中は回転部やベルトには絶対にさわらないでください。けがをするおそれがあります。 ・本機の積み降し時はタンクの水を抜いてください。重量に見合った運搬装置を使用してください。 ・本機の吊り上げは必ず赤色の吊り金具部で行い、周囲および下方に充分注意してください。
⚠注　意 X505000470	・取扱説明書をよく読んで　正しく作業してください。 ・保護カバーやその他安全装置を取り外したままで使用しないでください。 ・安全装置の作動確認を行ってください。作動不良によりけがをするおそれがあります。 ・ノズルを絶対に人や動物に向けないでください。 ・保護衣・ゴーグル・ゴム手袋・ゴム長靴を用意し、安全な服装で作業してください。 ・運転中及び停止直後は、消音器や本機上部カバーが高温になりますので　さわらないでください。 ・噴射作業はガンをしっかりと支持してください。 ・移動時以外は必ず本機を固定してください。 ・本機に直接噴射しないでください。エンジン不調を引きおこすおそれがあります。 ・使用後は、ホース及びガンの水を抜いてください。 ・本機から離れる時は　必ずエンジンを停止してください。 ・ホースの損傷や、折れ曲がったホース、継手金具の悪いものは、新品と交換してください。

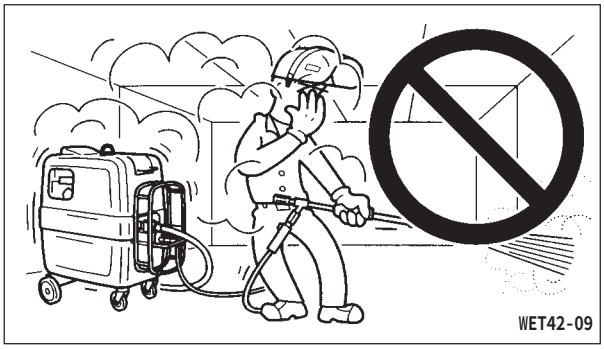


正しい作業のために



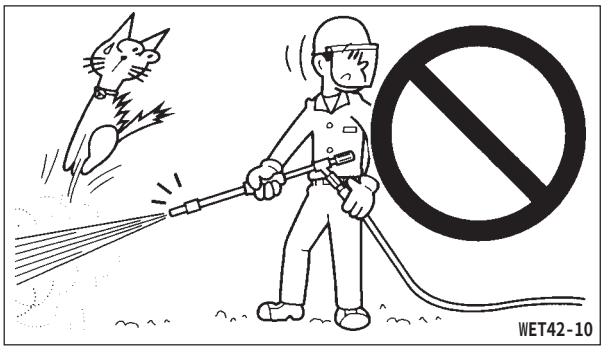
⚠ 危　険

燃料を扱うときは、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。



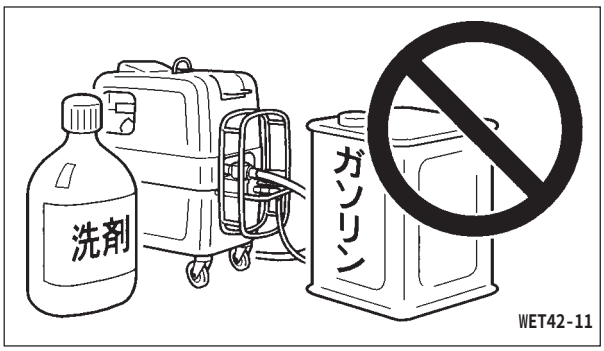
⚠ 警　告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。



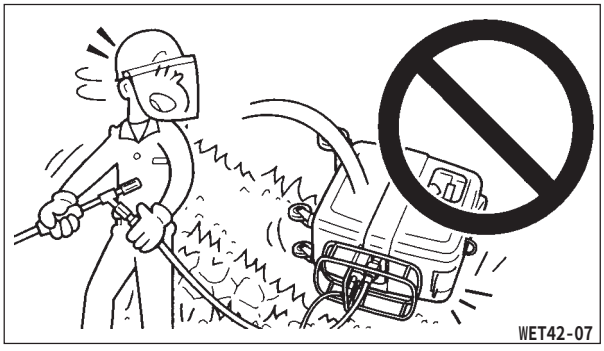
⚠ 警　告

人、動物、電気が通っている製品、本機には噴射しないでください。



重　要

ポンプの吸込みは、汚水、湯、洗剤、ガソリンなど水以外のものを使用しないでください。



⚠ 注　意

- **高圧洗浄機を不安定な場所や転倒の恐れがある傾斜地に置かないでください。**
- **キャスターのストッパは必ずロックしてください。**



からだの状態

● 病気のときや体調が悪いとき、妊娠中の場合、また､アルコールや体の機能に影響をおよぼす薬を飲んだときには作業を行なわないでください。

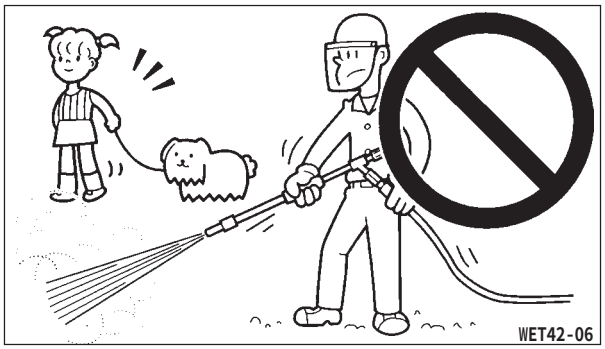
服装について

⚠ 警　告

適切な服装､保護具を身に付けないと事故が起きることがあります。正しく作業するために、かならず適切な服装､保護具を身に付けてください。

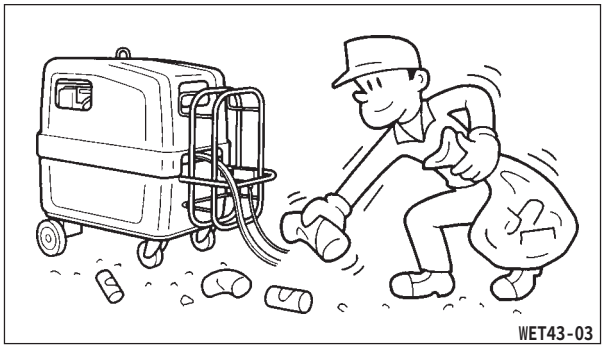
● 必ずフェースシールドを付けてください。
● 滑らない底が付いた靴をはいてください。つま先のあいた靴、サンダル、はだしで作業を行なわないでください。
● タオル、手ぬぐい、水などを、汗を拭いたり顔を洗うために用意してください。

作業前の点検

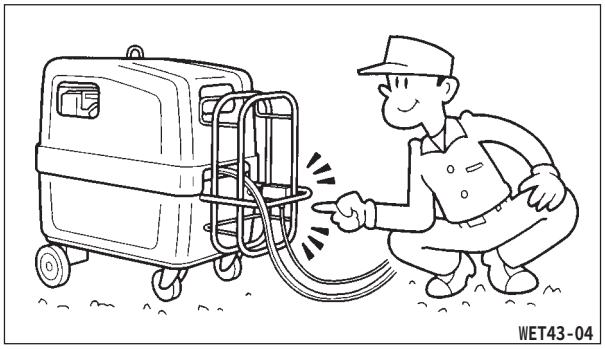


⚠ 注　意

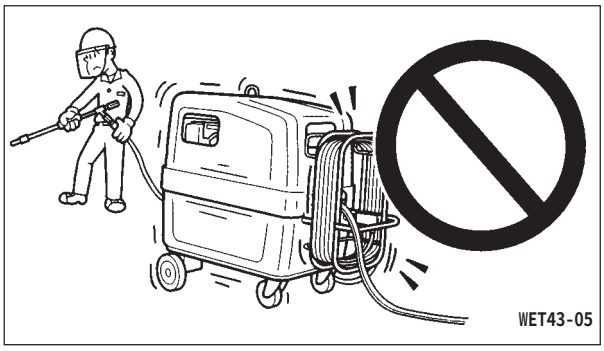
子供や作業に関係のない人が近くにいないことを確認してください。



● 作業場所の点検は必ず行ない、ゴミ、空きカンなど作業の障害になるものを取除いてください。

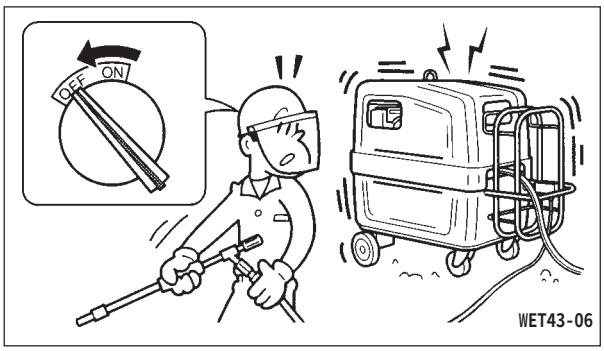


● ホース、その他の部品がきちんと取付けられているか確認してください。



重　要

洗浄を行なう前に、高圧ホースをホース巻きから外してください。

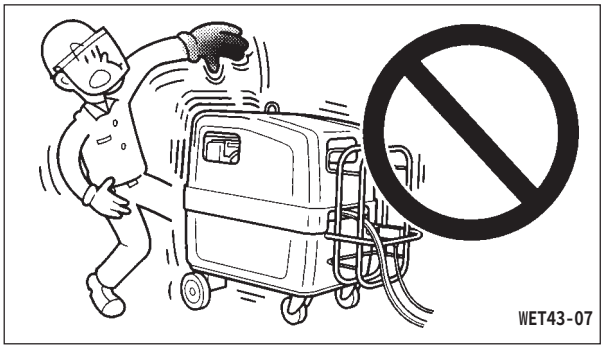


作業中の注意

⚠ 警　告

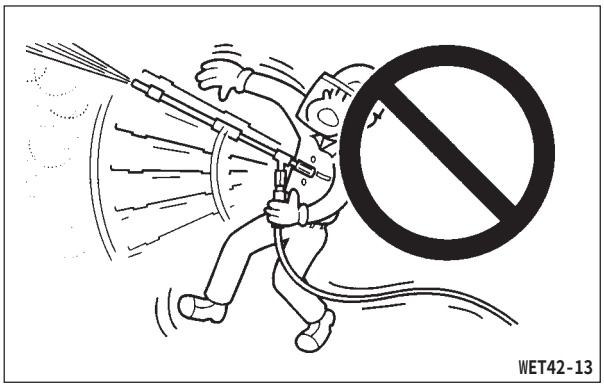
危険を感じた場合はすぐに作業を中止してください。

- **回転が不安定な場合や異常な音がした場合は、すぐに作業を中止してください。**



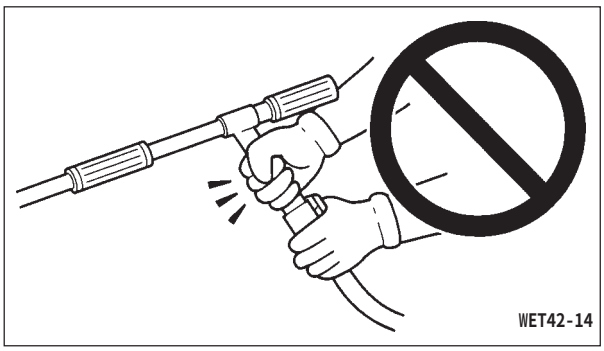
⚠ 警　告

運転中、停止直後は本体の上部が熱くなっています。触らないようにしてください。

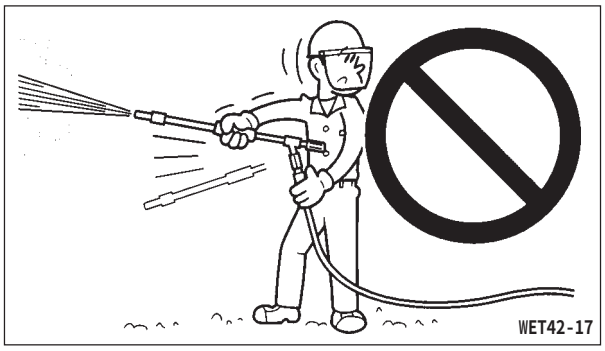


⚠ 注　意

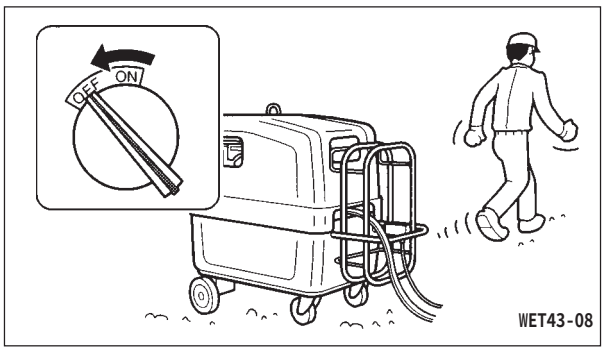
トリガランスをしっかり保持してください。反動がきたとき、思わぬ方向へ動くことがあります。



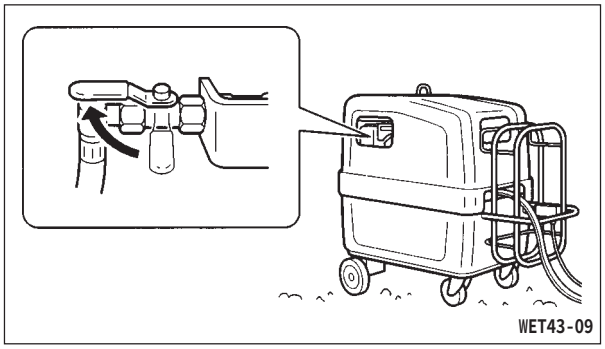
- **作業中はトリガランスのグリップ以外は持たないでください。思わぬ方向へ水が噴射されることがあります。**



● 作業中は、トリガランスの先を見てください。作業以外の場所を見るときは、作業を中断してください。

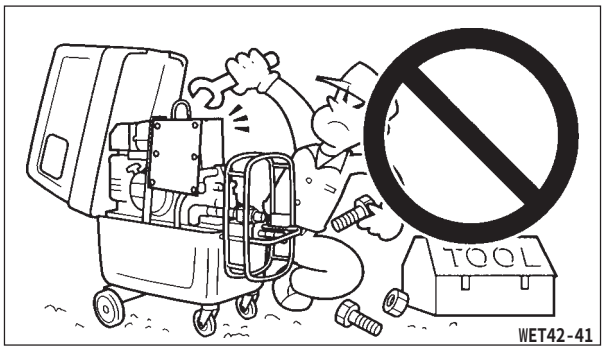


● 洗浄機から離れるときは、エンジンを停止してください。



重　要

運転の中断や終了のときは必ず始動コックを「始動」の位置にして高圧ホース内の残圧を抜いてください。
次に作業を開始するときに反動を防ぐことができます。

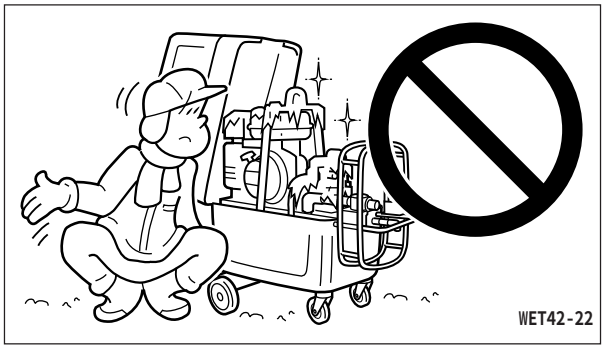


点検・整備の注意

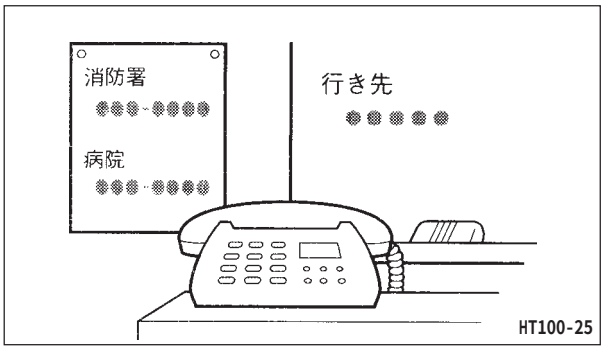
● この取扱説明書にしたがって点検・整備を行なってください。
● 当社指定以外の部品を使用したり、本機の改造を行なったりしないでください。

⚠ 警　告

修理、清掃などの作業を行なうときは、必ず運転を停止してください。



● 保管する前に必ず水を抜いてください。冬期に凍結することがあります。
●“長期保管の水抜き”の項（１７ページ）を参照してください。



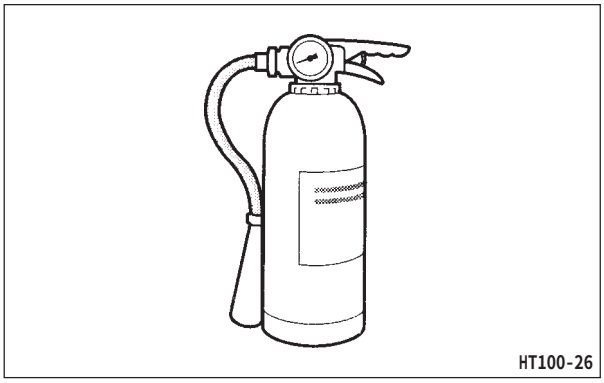
万一の事故に備えて

● 作業の前に

・万一の事故に備え、電話機のそばの目につきやすい場所に、医療機関、消防署（救急車）の電話番号を明確にしておいてください。
特に消防署への連絡の場合、救急車のための目標地点（住所、目標となる建造物など）も明確にしておくと、的確な連絡に役立ちます。

・単独で作業する場合、どこで作業を行なっているかが他の人にもわかるような方法（黒板に作業現場をメモするなど）を講じてください。負傷し動けなくなり帰れない場合の対処として有効です。

・作業現場には、呼子（笛）を持っていってください。

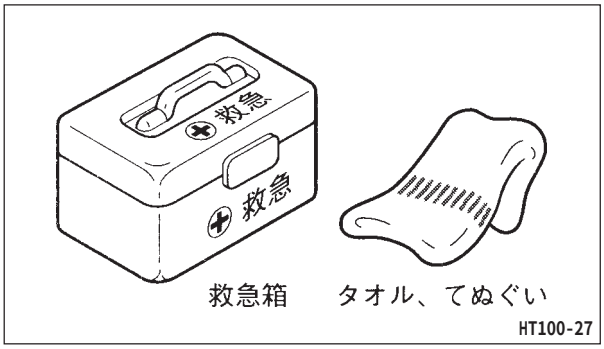


● 発火に対する備え

⚠ 危　険

作業中、万一、エンジンから発火または発煙したら、機械から離れ、まず、自分の身体の安全を確保してください。

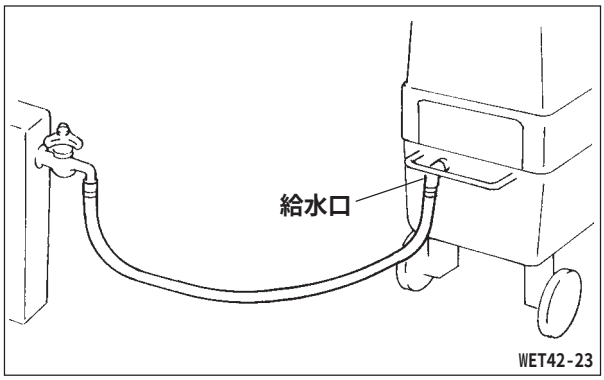
・自分の身体を、火災その他の傷害から守るように注意してください。
草木などに類焼しないよう注意してください。
シャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。



● ケガへの備え

・万一のケガへの備えとして、応急手当用品の入った救急箱を用意してください。
出血をともなうケガについては、止血用に汗拭き用のタオルや､てぬぐいなども有効ですので、常時余分に作業現場へ携帯することをおすすめします。

作業前の準備



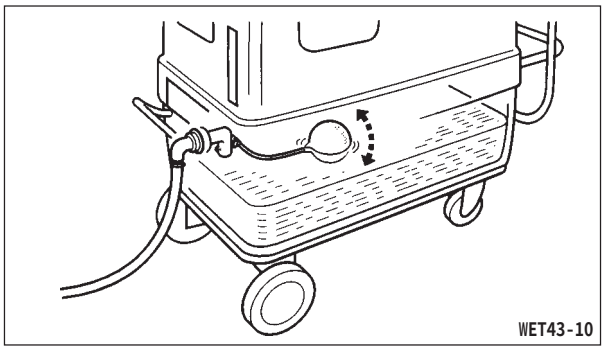
ホースを取付ける

● 水道水を使う場合

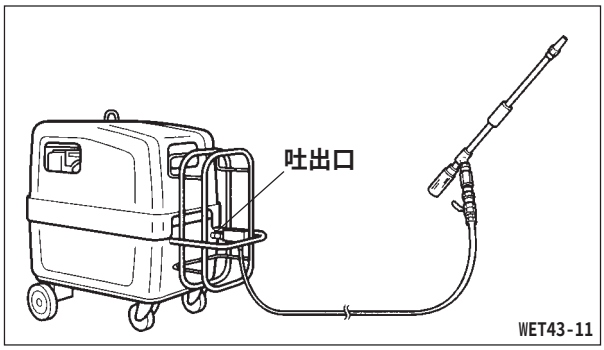
１．給水ホースの端を給水口に取付けてください。
反対側を水道の蛇口に取付けてください。
各接続口は必ずホースバンドで締付けてください。

重　要
本機を平坦で水平な場所に設置してください。

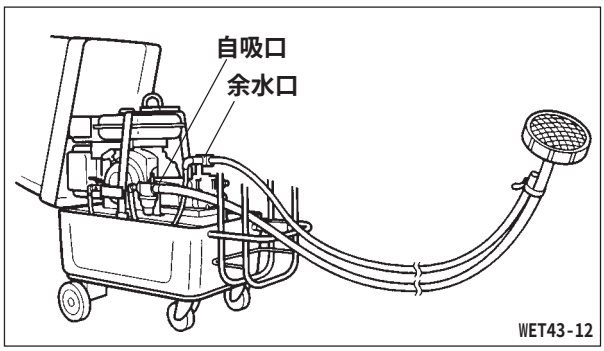
重　要
供給水道量は４０Ｌ／ｍｉｎ以上（０.２～０.８ＭＰａ）が必要です。



シースタンク内部にはフロート弁が内装されています。
水道栓を開放の状態にて、常に一定の水位になるように、自動で弁が開閉します。



２．高圧ホースの端を吐出口に取付けてください。
反対側をトリガランスに取付けてください。
確実にスパナなどで締付けてください。

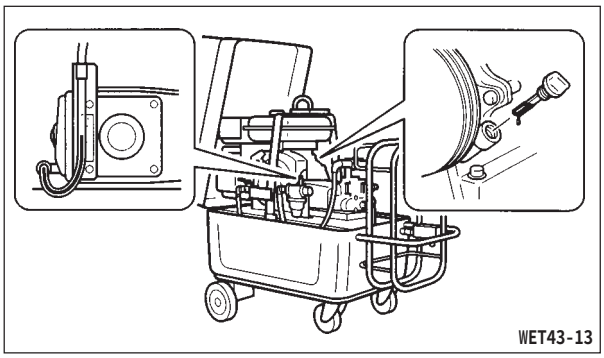


● 外部からの自吸をする場合

１．吸水ホースを外して自吸ホースを自吸口に、余水ホースを余水口に取付けてください。自吸ホースの先には必ずストレーナを取付けてください。
余水ホースの先端部は自吸ホースにバンドで固定してください。

２．高圧ホースの端を吐出口に取付けてください。
反対側をトリガランスに取付けてください。
確実にスパナなどで締付けてください。

エンジンオイルの確認

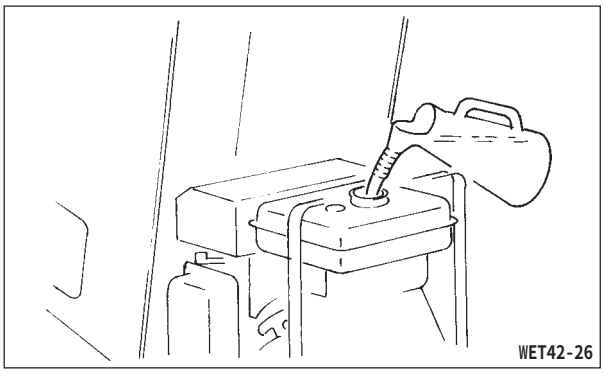


エンジンとポンプのオイルの量を各々のオイルゲージで確認してください。不足している場合はエンジンオイルＳＥ級ＳＡＥ＃３０相当を補給してください。

燃料を入れる

⚠ 警　告

燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、冷えてから行なってください。

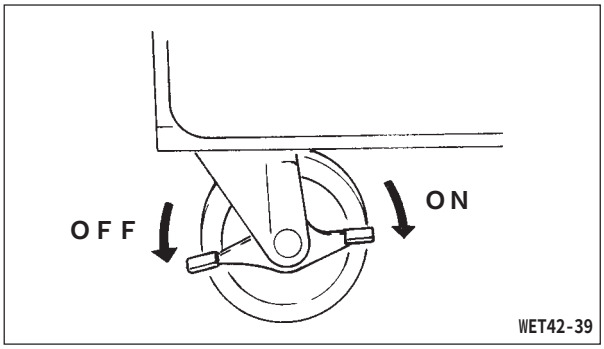


重　要

燃料は必ず無鉛ガソリンを使用してください。

カバーを開いて給油口からガソリンを入れてください。
燃料タンクキャップは確実に締付けてください。

キャスターの走行ロック

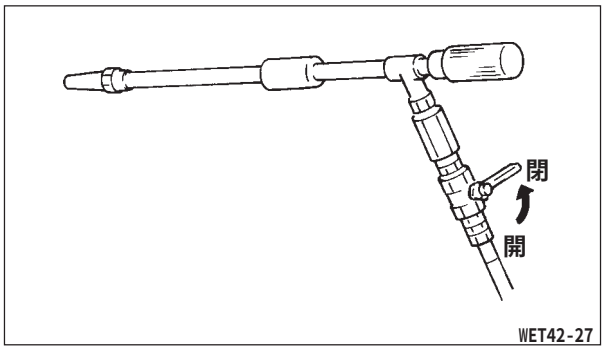


キャスターのストッパをＯＮにすると走行ロックが掛かります。ＯＦＦにするとロックが解除されます。

⚠ 警　告

必ずロックをして、作業中に自走しないようにしてください。

操作方法



作業の開始

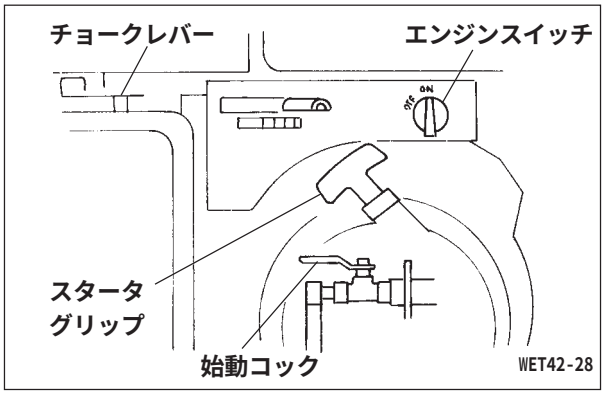
● 水道水を使う場合

1．トリガランスのレバーが送水ストップになっていることを確認してください。

2．水道栓を全開にしてください。

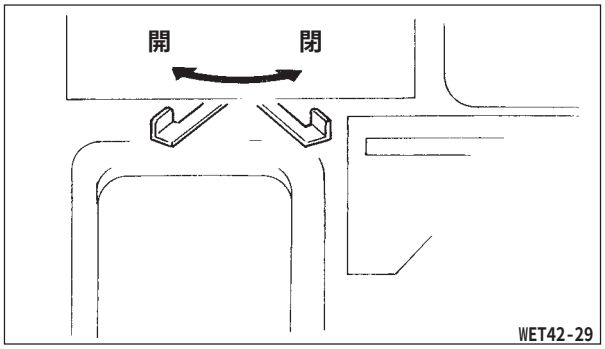
⚠ 警　告

エンジンの排気ガスには、死に至る有毒なガスが含まれています。室内や通気の悪い場所でエンジンを始動しないでください。



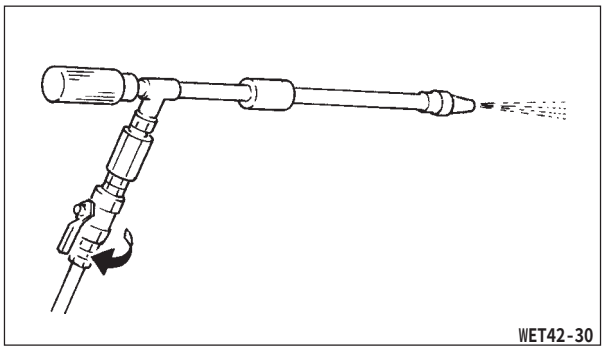
3．エンジンスイッチを“ＯＮ”にし燃料コックを“開”にして、始動コックを「始動」の位置まで動かしてください。スタータグリップを引いてエンジンを始動してください。

4．エンジンが始動したら、始動コックを「運転」の位置まで動かしてください。



重　要

エンジンが冷えているときは、チョークを「閉」にしてからスタータグリップを引いてください。エンジンが始動したら必ずチョークを「開」にしてください。



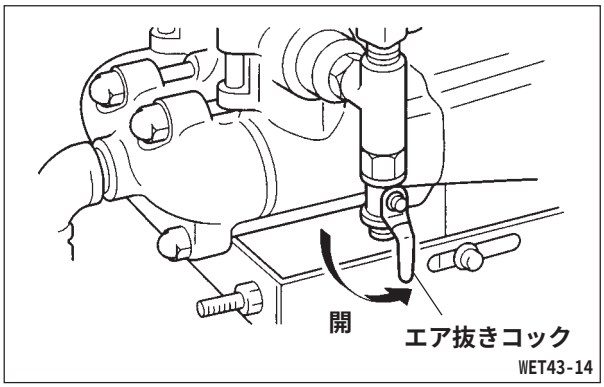
5．トリガランスのレバーを開にすると、エンジンの回転が上がり水が噴射されます。

⚠ 注　意

最初の数秒間、ホース内の空気が抜けます。反動がきたとき、思わぬ方向へ動くことがありますので、トリガランスをしっかり保持してください。

⚠ 警　告

人、動物、電気が通っている製品、本機にトリガランスの先を向けないでください。



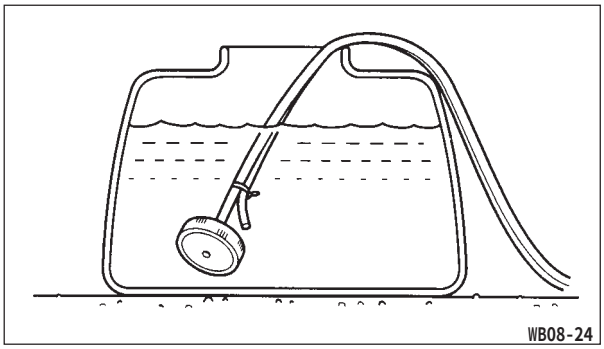
重　要

水の噴射量が不安定なときは、エア抜きコックを開けて１～２分間エア抜き運転してください。

重　要

５分間以上、カラ運転をしないでください。

６．トリガランスのレバーを閉にすると、噴射が停止し、アンローダ弁の働きによりエンジンが低速運転になります。



● 外部から自吸をする場合

１．自吸ホース、ストレーナ、余水ホースを給水容器（水源）に入れてください。

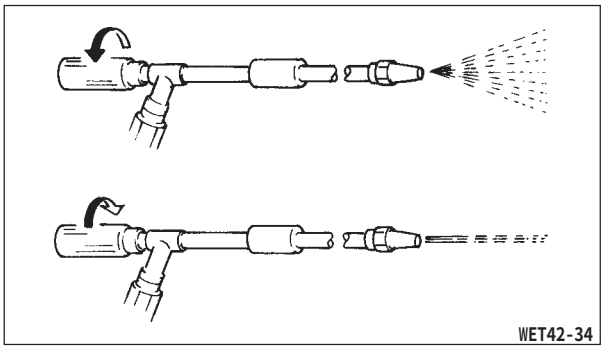
重　要

特別注文品の中間ストレーナの使用をおすすめします。

重　要

余水ホースを自吸ホースにバンドなどで固定して、余水ホースが給水容器（水源）から出ないようにしてください。

２．以降は水道水を使う場合と同様です。



噴射パターンの変更

トリガランスのグリップノブを回すと噴射パターンが変わります。

重　要

５分間以上、カラ運転をしないでください。

重　要

作業が終了したら始動コックを必ず「始動」の位置にしてください。次に作業を開始するときに反動を防ぐことができます。

作業の終了

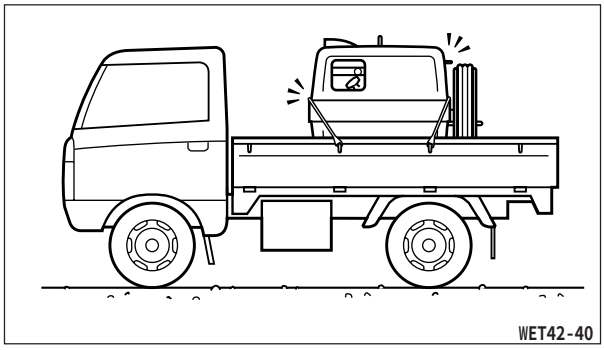
１．作業終了後は、エンジンスイッチを“ＯＦＦ”にし、燃料コックを“閉”にしてください。

２．水道栓を閉めてください。
給水容器を使用している場合は、ストレーナを水から上げてください。

３．ドレンを開けてタンク内の水を排出してください。

４．トリガランスのレバーを開にして、１～２分間エンジンを運転して水を抜いてください。

輸送・移動時の注意



高圧洗浄機を輸送・移動するときには、以下の点を守ってください。

- 必ずエンジンを停止する。
- 使用後に輸送・移動するときには、エンジン、マフラが冷えるまで待つ。
- 燃料をカラにする。
- タンクの水をカラにする。
- キャスターの走行ロックをする。
- 洗浄機に衝撃をあたえないようにする。
- トラックの荷台に乗せるときはロープなどで固定し、車輪に歯止めをあててください。

⚠　警　告

フック、ロープは２５０ｋｇ以上の荷重に耐えられるものを使用してください。

重　要

指定の吊り金具部（赤色フック）を吊ってください。

クレーン・ユニックなどのフックで吊るすときの注意

高圧洗浄機を吊るすときには、以下の点を守ってください。

- 必ずエンジンを停止する。
- 使用後に吊るすときには、エンジン、マフラが冷えるまで待つ。
- 燃料をカラにする。
- タンクの水をカラにする。
- キャスターの走行ロックをする。
- 洗浄機に衝撃をあたえないようにする。
- 吊るした本機の下には絶対近よらない。

点検・整備

● 点検・整備は、充分な広さがあり、安定した場所で行なってください。

● タバコ、その他の火気は厳禁です。

部 品 名	整備内容	整 備 時 期
エンジン、ポンプ	給油	初回は５０時間使用後、以降１００時間ごと／１年に１度
吸水ストレーナ	清掃	毎回使用後
エンジンポンプ	油量確認	毎回使用前
高圧ホース継手	締付け確認	毎回使用前
シースタンク	清掃	５０時間使用後
高圧ホース	交換	２年以内

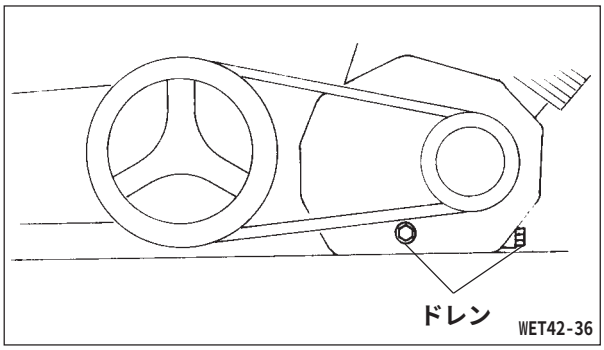
重　要

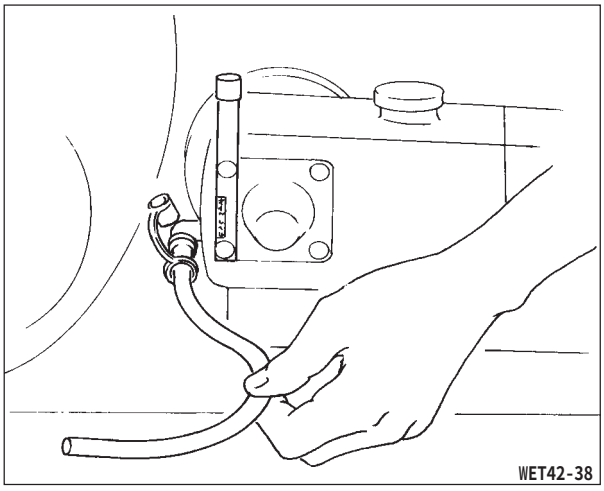
● この表の期間にしたがって整備・点検を行なってください。ただし、実際の使用条件や使用回数により必要と判断した場合は整備・点検の回数を増やしてください。

● 毎月、毎年の整備・点検を行なった日付を記録してください。

● １年に１回以上は、お買い求めの販売店に、定期点検を依頼してください。

エンジン・ポンプのオイル交換





重　要

ＳＣ、ＳＤまたはＳＥ級ＳＡＥ＃３０エンジンオイルを使用してください。

● エンジンのオイル交換

プーリの下にあるドレンを開けてオイルを抜き取ってください。（２ケのうちいずれか）

注油口から新しいオイルを入れてください。

● オイルゲージで適量を確認してください。

● ポンプのオイル交換

オイルゲージホースを下方におろしてオイルを抜き取ってください。

注油口から新しいオイルを約５５０ｍＬ入れてください。

● オイルゲージで適量を確認してください。

故障診断と対策

もし不具合が起きたときには、次に記す対策で多くの場合は正常に戻ります。
万一戻らない場合や、ご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
お問い合わせの際には、その機械番号と型式を忘れずにお知らせ願います。

不具合事項	原　因	対　策
● エンジンが起動しない。	● 始動コック。 ● エンジンが冷えている。 ● エンジントラブル。 ● 凍結によるポンプのロック。	● 始動コックを“開”始動にする。 ● チョークを“閉”にする。 ● 販売店へ。（分解・整備） ● 暖かくなるまで待つ。（販売店へ）
● 運転音が大きい。	● 水温が高い。 ● 空気の混入。 ● 吸水不足。	● 供給水温を下げる。 ● エア抜きコックでエア抜きをする。 ● 供給水道量の見直し。 ● 吸水ストレーナの清掃。
● エンジンが停止する。	● エンジンのオーバーロード。 （オーバーヒート） ● 圧力の上がりすぎ。	● 温度が下がるまで待つ。 ● アンローダ弁を回して圧力を下げる。
● 吸水しない。 吐出しない。	● ポンプ、配管内のエアロック。 ● ノズルの詰まり。 ● 高圧ポンプの不具合。	● エア抜きコックを“開”にする。 ● 清掃する。 ● 販売店へ。（分解・整備）
● 規定圧力に上がらない。	● ノズルの摩耗。 ● ポンプ、アンローダ弁の不良。	● 交換する。 ● アンローダ弁を回して圧力を上げる。 ● 販売店へ。（分解・整備）
● 噴射水が一定しない。 ホースのふれが大きい。	● ノズルの詰まり。 ● 空気の混入。 ● 吸水不足。 ● アンローダ弁の不具合。 ● 高圧ポンプの不具合。 ● Ｖベルトのスリップ。	● 清掃する。 ● エア抜きコックでエア抜きをする。 ● 吸水系統の接続部の点検。 ● 供給水道量の見直し。 ● 吸水ストレーナの清掃。 ● 販売店へ。（分解・整備） ● 販売店へ。（分解・整備） ● Ｖベルトを張る。（販売店へ）

長期保管

長期保管する前には必ず以下の手順に従ってください。

重　要

冬期間、水が凍結する恐れのある地域では必ず水抜きを行なってください。

重　要

５分間以上のカラ運転をしないでください。

重　要

凍結による不具合などは、メーカーの責任外となりますので、ご注意ください。

水抜き

- シースタンクのドレンを外して、水を抜いてください。
- トリガランスのレバーを開にして、１分ほどカラ運転をして完全に水を抜いてください。
- 中間ストレーナのストレーナカップをゆるめ、内部の水を抜きます。
- ポンプのドレン栓を外し、エア抜きコックを開けてポンプ内の水を抜いてください。
- 各ホース類は室内に保管してください。

燃料の排出

燃料コックの下のカップを回して外し､エンジンの燃料を排出してください。

長期保管の場所

以下の場所に保管してください。

- ホコリがかからない｡熱､直射日光があたらない。
- 子供の手が届かない。
- 火気がない。
- 安定している。
- 近くに危険な物が無い。

仕　様

項　目	WET044	WET044N
エンジン	空冷４サイクルガソリン	
	型式：GA220SHPKR（ヤンマー）	
	連続定格出力：３．５３ kW（４．８ PS）（回転速度１，３５０ r/minの時）	
理論吸水量	３３ L／min	
吐出圧力	５．０ MPa （ ５０ kgf／cm²）	
吸上げ高さ	２ m （ 水温 ３０ ℃以下 ）	
機体寸法	長さ １，３６０ × 幅 ６００ × 高さ １，０８０ mm	
質 量	１１６ kg	
付 属 品	高圧ホース（ φ１２．７ mm × ２０ m ）、 可変ノズル付きトリガランス、	外部吸水ホース、外部ストレーナ 外部余水ホース

よりよい製品を作るために予告なく仕様を変更する場合があります。

株式会社 共立

東京都青梅市末広町 1-7-2　〒 198-8711　☎0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　〒 004-0041　☎011-891-2249(代)

東北共立エコー株式会社
仙台市若林区卸町東 5-1-50　〒 984-0002　☎022-288-0511(代)

両毛共立エコー株式会社
宇都宮市御幸本町 4736-7　〒 321-0983　☎028-661-0431(代)

東部共立エコー株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-1091(代)

中部共立エコー株式会社
愛知県西春日井郡西枇杷島町宮前町 1-39　〒 452-0031　☎052-502-4111(代)

西部共立エコー株式会社
岡山市藤田 566-159　〒 701-0221　☎086-296-5911(代)

九州共立エコー株式会社
大野城市白木原 5-3-7　〒 816-0943　☎092-573-5361(代)

エコーレンテックス株式会社
青梅市末広町 1-7-2　〒 198-0025　☎0428-32-6777(代)

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

898 512-2885 1
X753 612-050 1